



騎士

上

三太

な

あ

な

い

の

り  
は



とある辺境の村

フレリア様…

さっさと  
集まれ!

そんな…

逃げた者は  
殺す!

おお

サ  
ワ  
ワ

帝国に逆らった者が  
どうなるかを!

村の者共  
良く見て  
おくが!!!





村の者たちよ…  
すまない！



帝国兵め！  
一体何処に潜んでいた？

虚を突かれたとはいえ  
我が隊が一瞬で  
全滅するとは



…  
知らんな！  
敵国の顔などいちいち  
覚えておくとでも？

私怨か？  
ならば目的は  
村ではない？



ワシを  
覚えておるか？

この二年…お前に  
受けた傷が痛まない  
日はなかったぞ



その身体に  
刻みつけて  
やるわ



ふん…  
相変わらずの  
高慢さよ！

今度は二度と  
忘れられぬよう…



どうだ？  
あの日の事を  
詫びて跪けば



くくく  
これはなかなか…  
美しい身体をしている  
ではないか

騎士に  
しておくには  
もったいない



ワシの女として  
置いてやらんでもないぞ？



さすがは  
王国騎士隊長  
死を恐れぬ  
その気概は  
見事だが…

果たして本当に  
できるかどうか…

生き恥を  
晒すくらいなら  
騎士として  
誇りある死を選ぶ！



生き恥を  
晒すくらいなら



なめるなっ！  
誰がキサマらの  
ようなケスの  
言いなりに…



見ろ

もはやおまえは  
自死すらも  
許されん立場だと  
いうことが

わかっていない  
ようだな...

ハッタリだと  
思うのか?

助けて...

ならば今ここで  
舌を噛み切



ぐわん!!



まさかキサマ!  
民に手を  
かける気か!

捕虜の扱いは  
条約に厳しく  
決められてる!

そんなんで行な  
が国だけでなく  
我々の国は  
周囲の国は  
黙ってはいぞ!

ブルン

こんな辺境の村だ  
誰も気付かんさ

ワシも隊を統べる者として  
兵を労わねばならんのでなあ

お前も隊長なら  
わかるであろう？

こいつ…  
初めから  
そのつもりで

クズめ！

くく  
さあどうする？

お前がワシらを  
楽しませてくれると  
いうのなら

他のものは  
助かるやも  
しれんぞ？

ベロ

ヤッ

ヤッ  
やわわ

民を見捨てる  
わけには…

…わかった

その代わり誓え！  
民には手を出さない…

ギリ

簡単に  
死なれては困る

あの日受けた  
屈辱…何倍にも  
して返してやる

泣いて許しを

乞うまで追い詰めて  
追い詰めて…その心  
へし折ってくれるわ

ああ  
誓うとも



くくく  
ごまあねえな

しっかり歩け！  
負け犬！

あの王国騎士隊長  
フレイアが  
なんてザマだ！



民に醜態を晒した  
気分はどうだ？

惨めで  
堪らんだろう



よし…  
止まれ

なんだ？  
その眼は…

それが主人に  
向ける眼か？

躰の足りない  
犬には…

罰を与えて  
やらねばなあ！

フンツ！

ゴミが！  
自分の立場も  
わからん愚か者め

まだ自分が  
騎士だとも  
思っているのか？

おまえはもはや  
人間ですらない！

主人にケツを  
振るだけの犬なのだ！



辺境の村といえど  
隊が1つ消えたのだ…  
救援はきつと来るはず!

わたしは誇り高き  
王国の騎士だ!

こんなことで  
折れはしない!



オレたちの  
ために…

ひどい…



今ここで小便しろ

どれ…趣向を  
変えてみるか…

大したものだが  
少々面白みに  
欠けるな…

これだけ痛めつけて  
悲鳴ひとつ上げんか



それまで  
耐えてみせる!



勢いで村人に  
手を出して  
しまおうも  
しれんぞ?

さっさとしろ!  
ワシはあまり  
気が長くない

民を守る…  
ためなら…



くくくく  
お前の騎士としての  
尊厳…徹底的に  
奪ってくる



なっ…!こんな  
大衆の前でだと…

顔色が悪いぞ

どうした?





わあ

村の者にも  
しつかり見て  
もらうといい

フハハハ!  
ケツ穴まで  
よく見えるわ



ぶる  
ぶる  
びよ  
びよ



見みくつ  
ないな!  
いでくれ!



いつまでも待たせるな  
3つ数えるまでに  
一人殺すぞ

ふたーっ!

ひとっ

フッ

フッ





くくく  
もはや品の  
カケラもないな

しばらく  
そうやって  
反省している

お前たち  
ワシが戻るまで  
見ておけ

はっ



姿勢を崩したり  
妙な素振り  
見せたら  
民を殺せ

仰せの通りに!

わたしもう  
見てられない...

情けない...  
帝国兵の  
言いな  
じゃないか...

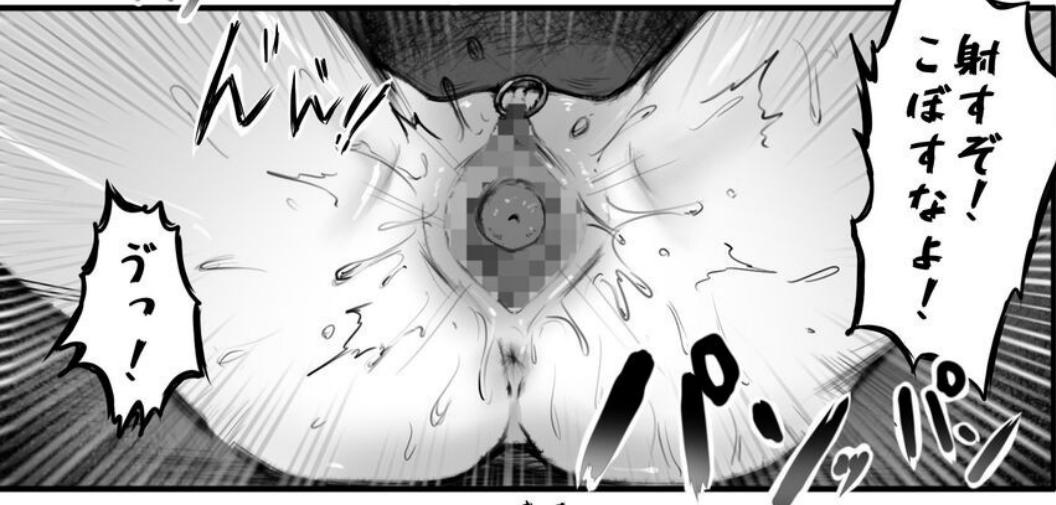
よせよ!  
俺たちの為に  
ああしてるんだぞ!

ズキ  
ズキ

そうだが...

あれじゃ  
本当にただの  
犬だ...

...



射すぞ!  
こぼすなよ!





酷いだな

まあ三日三晩犯され  
続ければ無理もない

結構

休ませないよう  
交代で相手を  
させております!



どうだ?  
犬の躰は  
捗っておるか?

ハッ!



たとえ身体は好き  
に出来ても心までは  
奪えると思うな!

キサマの思っ  
てるより遙かに  
王国騎士の誇りは  
気高く強い!



ぬかせ! こんなことで  
私を追い詰めている  
つもりか? だとしても  
帝国もヌルいものだ!

随分頑張る  
ではないか:

本当は民など  
見捨てて楽に  
なりたいたいのだろう?



こいつでな



な...  
なんだそれは



キチ

そう吠えるな  
そんなザマでは  
滑稽なだけだぞ?

しかしその  
精神力は認めざる  
おえんのも事実

どれ...その誇りと  
やらがどれほどの  
ものか試してやろう

だ  
れ  
か  
れ

ポ  
ポ  
ポ

ひ  
ひ  
ひ







赤子のように泣きじゃくり懇願するとは…

なんと情けない!

はっ!  
あれほど啖呵を切っておいて

パンパン

騎士の誇りとはなんだったのだ?

フッ  
フッ  
ガクガク  
フッ  
フッ

高潔ぶっていても所詮はこの程度よ!

いいか?  
お前は犬だ!

ワシの機嫌をとり!  
ケツを振るだけのただの牝犬なのだ!

身の程をわきまえろ!

わかったか!

クッ  
クッ



お前はなんだ？  
言ってみろ！

わ…私は…  
い…犬です…

誰の？

あなた様の犬です！  
認めます！  
認めますから…

だから！  
お願いします…  
もう…たえられない…

随分しおらしく  
なつたものだ

まあワシも鬼ではない  
従順に尻尾をふるなら  
それなりに可愛がつて  
やらんでもない



そんなにか？  
痒いのか？

はっ…！  
はっ…！

はっ…！  
はっ…！

…ならば  
手枷を外して  
やろうか？

そうすれば自分で  
好きなだけ  
掻けるだろう？

!!

はい！  
お願いします！  
外して…

外してくださーい！  
なんでも…  
しますから！



ガチャ  
ガチャ

カ  
チャ

いいだろう  
恥も忘れて  
存分に掻き  
むしるといい

あ…  
ありがとうございます！  
ありがとうございます！

ありがとうございます！  
ごぎいます！

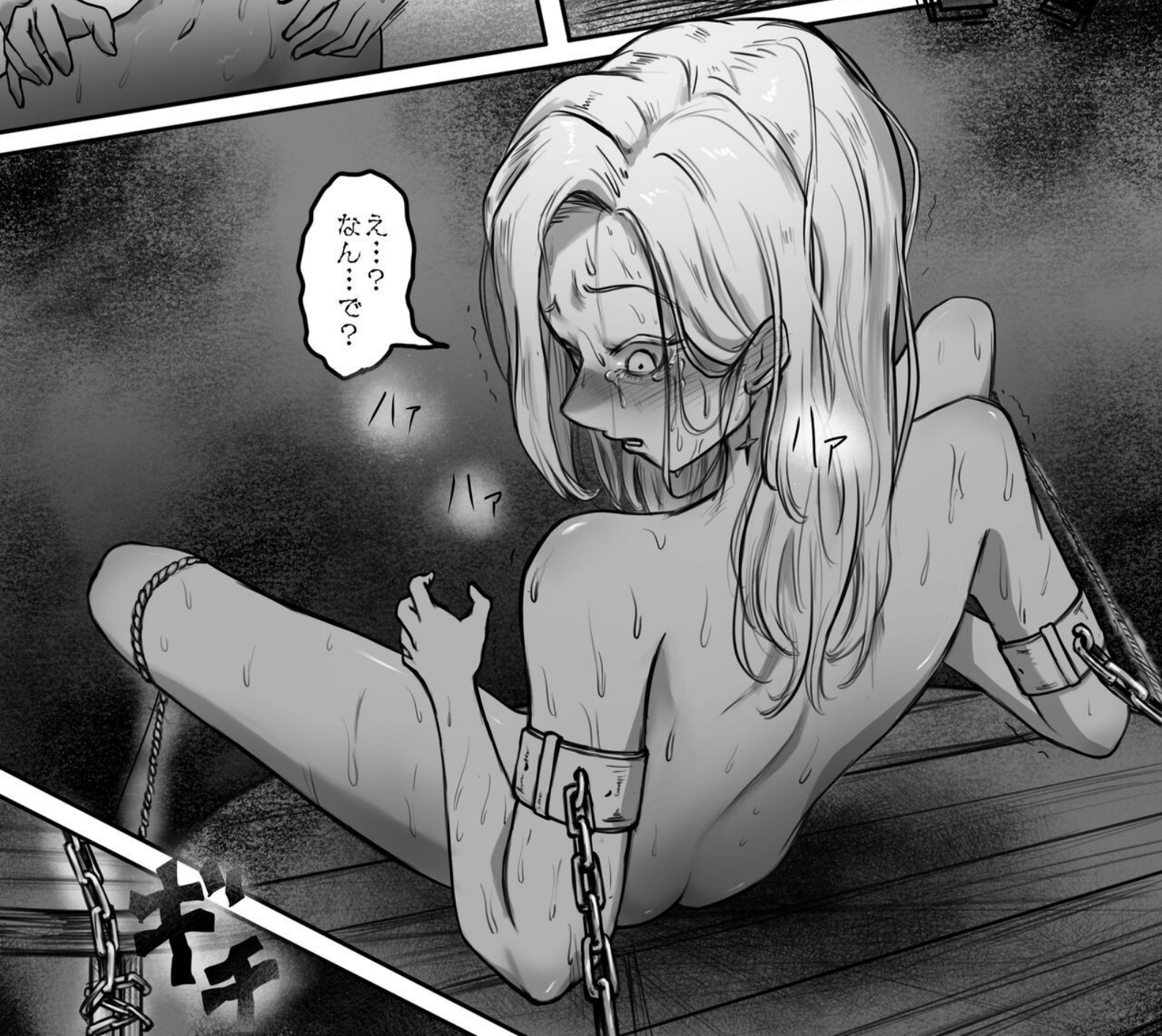


〜…?

え…?  
なん…で?

117

117



十



お前の頼みなど  
本気で聞くと  
思ったのか？

始めから掻いて  
やる気も掻かせて  
やる気もないわ  
阿呆め！



なんて顔だ！  
傑作だな！

ぽっ！



身から出た錆…  
後悔しながら  
悶え苦しめ！

あれだけ  
生意気な態度を  
とっておいで

そう簡単に  
許されるわけ  
なからう

ぐわ

じく じく

おあおあ



なにを…



やはり上辺だけなのな言葉だった

はっ！豹変しおった

おい

はっ！

殺す！殺してやる！

この外道が！



ズボ

無礼な口を聞いた罰だ



今度は膣とケツ穴にも…

たっぷり塗ってやる

ダボダボ

存分に味わえ





糞を漏らしおった!

信じられん!



どうやら...  
まだまだ  
満足りん  
ようだな

あ...

堕ちたか...

糞尿ぶちまけ  
泡まで吹くとは...  
なんと  
はしたない

ピッ

ピッ

あ!

あ